

愛知県自転車モーター商協同組合

子どもから高齢者まで 安心安全に乗れる自転車

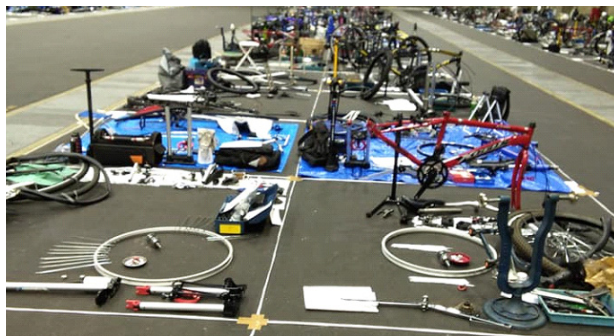
通勤・通学からレジャーなど、 用途の広い自転車

子どもの入学祝に自転車をプレゼントする人は多いようです。補助輪を外して、一人で自転車に乗れた時の子どもは本当に誇らしげです。ただ、子ども人口が減少するとともに、自転車の販売台数も減っています。かつては全国で年間 1,000 万台ほど出荷されましたが、現在は、710 万台ほどに留まっています。

現在の組合員は 550 社です。組合は昭和 23 年 (1948) に名古屋自転車リヤカー小売商業協同組合として創設されました。かつてはモータリゼーションが普及するまで荷物の運搬にリヤカーを自転車で引く光景が街なかでよく見られました。1970 年代からは集合住宅で暮らすスタイルが定着するとともにミニサイクルが普及しました。現在は通勤、通学、スポーツ、レクリエーションなど役割は多様化してきました。同時に交通事情を考慮しますと、ヘルメット着用による安全性が一層求められています。

安全運転、盗難防止運動に協力

自転車は原則として車道を走らなければなりません。法改正によって子どもや高齢者は歩道を走行できるようになりました。道路の渋滞や混雑した電



自転車技能士試験などにも協力

車を避けるため、自転車に乗る人もいます。しかし、安全に走るには法令でルールを定める以外に、自転車道の充実も必要です。そして、快適な自転車走行には空気のチェックのほか、ハンドルの握る手のひらの位置やサドルの



タイヤを限りなく真円に近づけ、歪みをなくすることで、ペダルをこぐ力を軽減し、安全に走行できるようになる

高さを体格に合わせる必要があります。さらに、車輪のスポーク調整が微妙な歪みを正すことで安定走行に寄与すると確信しています。

自転車販売台数が減少する中、街の自転車店の使命は丁寧な修理と点検です。ここで信頼関係を築くことができれば事業継続に繋がると思います。組合では愛知県交通安全協会の要請で「交通安全子供自転車愛知県大会」や「交通安全高齢者自転車愛知県大会」をサポートしています。また、愛知県警察と協働で盗難防止に有効と考えている二重ロックの啓蒙と配布、アイドルグループを起用した LED キーホルダー、ひったくり防止ネットなどの配布を行ってきました。

他に、特賞に電動アシスト自転車が当たる「2021 愛知自転車バイクまつり」を実施したところです。

自転車はエコでヘルシーな乗り物です。条件付きで列車に持ち込み可能なことを周知したいものです。